

提 案 概 要

実 施 期 日	7 月 2 9 日 (火) 【午後】
部会名	小学校 算数部会

1 提案テーマ 算数的活動を通して数学的な考え方を育成

～算数科における言語活動の充実～

2 単元（題材） 文字と式

3 学年 第6学年

4 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

①算数的活動を通して、算数への関心・意欲・態度や数学的な考え方を育てる指導と評価の工夫・改善

5 学習指導要領との関連（内容項目）

第2章 第3節 算数 第2 各学年の目標及び内容 [第6学年] 2 内容 D 数量関係

(3) 数量の関係を表す式についての理解を深め、式を用いることができるようにする。

ア 数量を表す言葉や□、△などの代わりに、a、xなどの文字を用いて式に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすること。

6 実践に向けての課題意識

本学級は昨年度からの持ち上がりであり、学習にまじめに取り組み、活発に活動する児童が多い。各学年当初に「算数についてのアンケート」を実施した。5年生では「算数の勉強が好き」と答えた児童は約5割、「自分の考えを説明することが好き」と答えた児童は約3割であった。算数の授業を通してもっと算数の勉強を好きになってほしいと思い、算数だけに限らず様々な授業の場面でICTを活用したり、自分の考えを説明する場面を設定したりしてきた。6年生になり、「自分の考えを説明することが好き」と答えた児童が3割から4割へとわずかながら増えたが、まだ説明することに「間違えたら恥ずかしいから」と苦手意識を抱いていて、自分の考えに自信がもてない児童が多くいることも分かった。また、高学年になると分かっているにもかかわらず説明しない、できない児童もいる。そして、分からないから言わない、言えないという児童もいる。そこで、さらに説明する力（表現力）を育て、算数学習に楽しく取り組んでもらいたいと考えた。一人学びの時間やペアトークなどを通じて、計算の仕方を考え説明する算数的活動を取り入れ、友だちと互いの考えを意見交換する楽しさを感じてほしいと思い、授業研究を行ってきた。

7 実践の概要

- 単元構想シートを作成することで、見通しをもって計画し、児童が楽しく学習できるようにした。
- 個人の考えを、根拠を明確にしながら言語化できるツールを用意した。それを使うことで、お互いの考えを伝え合ったり、認め合ったり、補足しあったりしながら発展させられるような活動をすることができた。

8 成果と課題

- 話し合い活動の時間を確保することで、考えを深めようと進んで取り組んでいる様子が見られた。また、具体物を提示することによって、学習が深まった。
- 児童が学ぶことの意義や必要性を感じる教材を工夫することが課題である。

9 予想される協議の柱

- 児童の意欲を高める教材の工夫
- 言語活動を取り入れた授業の時間配分